2025 年度広島県がん診療連携協議会　情報提供・相談支援部会　PDCA サイクル

Ⅰ．目的

がん診療連携拠点病院整備指針では、がん相談支援センターについて「がん患者や家族が持つ医療や療養等の課題に関して、病院を挙げて全人的な相談支援を行うこと」としている。2020 年のデータでは、がん罹患者のうち、65 歳以上の高齢者が占める割合が 75%を超えており（がんの統計;がん情報サービス)、2025 年問題の真っ只中にある今、高齢者に対する支援体制を整備することが急務である。

がん相談支援センターの業務内容には、「高齢者のがん治療」に関する「一般的な情報提供」ができる体制を整備すること（同整備に関する指針に関する Q&A　p 2）が示されている。また、同整備指針（Ⅱ-2-(1)-3）において、高齢がん患者について、「患者や家族の意思決定支援の体制を整え、地域の医療機関との連携等を図り総合的に支援すること」と明記してあり、治療選択や ACP、療養場所の問題など取り組み課題は多い。そこで今年度のテーマは、「高齢がん患者の相談支援」について、各病院の課題について取り組み、相談の質の向上を図る。

Ⅱ．対象

広島県内がん診療連携拠点病院 13 施設と 3 施設のがん相談支援センター

Ⅲ．PDCA サイクル

P（計画）	D（実施）
① 各病院は PDCA サイクル評価シートに「目標」および「P（計画)」を記入し、6 月 13 日までに分科会担当者へ提出する。 ② 第 1 回部会において、分科会担当者が各病院の PDCA サイクルシートを全病院へ配布し、中間評価および最終評価の方法について検討する。 ③ 広島県がん診療連携協議会（第 2 回）にて報告する。 ④ 第 2 回部会において、各病院の進捗状況や課題についてグループ内で中間評価を行う。 ⑤ 第 3 回部会において、相互評価および全体検討・評価を行う。 ⑥ 全体検討・評価の内容を協議会へ提出する。	① 各病院より、計画どおり評価シートが提出された。 ② 第 1 回部会にて、各病院の PDCA サイクルシート（P：計画）を配布し、最終評価はペア病院との相互評価により実施する方針とした。 ③ 広島大学病院より、広島県がん診療連携協議会（7 月 18 日）へ報告を行った。 ④ 第 2 回部会にて、各病院の進捗状況の確認および中間評価を行い、グループ内で共有した。 ⑤ 第 3 回部会にて、ペア病院との相互評価を実施し、グループ内で共有した。また、次年度の PDCA サイクル評価のテーマについても協議した。 ⑥ 三次中央病院および県立広島病院が取りまとめを行い、広島大学病院へ提出した。

C（点検・評価）
● 高齢者の相談支援について、各病院（14施設）の置かれている環境や、患者・家族のニーズに応じた取り組みが行われた。 ● 国指定がん診療連携拠点病院以外の2施設については具体的な取り組みは行われなかったが、グループワークに参加することで、県内各病院の取り組みを参考にすることができた。 ● テーマ別に「情報提供資材等」「スクリーニング／意思決定支援」「他機関との連携」「地域の情報集約／情報提供資材等」の4グループに分かれて中間報告を行い、他病院の取り組みや進捗状況を確認しながら、自施設の取り組みに反映・活用することができた。 ● 最終評価では、ペア病院との相互評価を通じて他病院の取り組みを詳しく知ることができ、評価を受けることで、取り組み内容のブラッシュアップにつながる助言を得ることができた。相互評価後には、各グループの取り組み内容について全体共有を行った。 ● 部会で来年度のPDCA取り組みについて検討し、PDCAサイクルテーマ「高齢がん患者支援」と決定した
A（改善）
各施設において高齢者の相談支援に関する課題が依然として残っていることから、本テーマについては次年度も継続して取り組むこととする。